

教文研中社 授業実践講座

「いのちの花」サロン第3回(今回は以下の二本立てです)

①「東アジアと国際都市・箱崎」

～ 多文化共生のあり方を考える ～

今日、欧米をはじめ世界ではグローバリズムへの抵抗もあり、極端なナショナリズムと排外主義を掲げる極右政権が日に日に勢力を拡大し、移民や難民に対する差別や攻撃が増えています。相互理解や共生・寛容の精神が遠のき、ナショナリズムがぶつかり合う先に待つものは、「かつて来た道」であることにどれだけの方が気づいているのでしょうか。日本でもヘイトスピーチをはじめ、好戦的、排除的な言説が見られるようになった今、周囲に流されない「共生」のあり方を子どもたちに問い続けることが今ほど大切な時はないのではないのでしょうか。

現在アジアを中心にさまざまな国籍やルーツをもつ人々が暮らす「箱崎」には、1000年も前に国境を越えた「人」のつながりが豊かな時代がありました。過去の豊かな歴史を振り返りながら、これからのあり方をみんなで考えてみませんか。

②夏の大分フィールドワークについて

テーマ「放浪・廻遊民と日本の近代」

～「非定住」の民の姿から近代国家の本質を考える～

非定住の民「サンカ」や「家船のシャア」などについて「放浪・廻遊民と日本の近代」の著作がある大分東明高校教諭長野浩典さんの案内で大分県内をフィールドワークします。8月3日(土)・4日(日)の日程です。今回はフィールドワークに先立っての学習会をします。

- ・ 話題提供者 古賀 朗 箱崎中学校教諭
- ・ とき 6月21日(金) 18:30～(第3金曜日)
- ・ ところ 福岡市教育会館(東部事務所) (福岡市東区馬出4丁目2番17号)

※参加費は無料です。

※窓口(連絡先) 井上 法久(携帯) 090-9651-8738